

富山・ミラノデザイン交流倶楽部 デザインセミナー

蘇生する輪島塗

桐本泰一

輪島キリモト代表
漆デザインプロデューサー

2025年2月3日(月) 18:00-19:30
ウイング・ウイング高岡501研修室 聴講無料

蘇生する輪島塗

令和6年元日の大地震では富山県も大きな被害を被ったが、続く9月の豪雨で復興途上にあった能登半島はさらなるダメージを受けた。この理不尽に本当に胸が傷む。そんな輪島で地域と経済の復興に奔走する桐本泰一氏を本セミナー講師にお迎えする。伝統工芸の現場で何が起きていたのか、そして、これからどうすべきなのか。多数のご聴講をお待ちしております。

活動実績

- 1962年 石川県輪島市に生まれる
- 1985年 筑波大学芸術専門学群生産デザインコース卒業
- 1985年 コクヨ(株)意匠設計部入社
- 1987年 輪島朴木地工芸 桐本木工所入社
朴木地(ほうきじ)職見習いを経て、木地屋からの漆器造形デザイン提案や木地屋が想う漆の器、家具、建築造作などの創作をはじめ。現在も継続して活動中。(木と漆のデザインプロデューサー)
- 2001年 「石川県デザイン賞」受賞(石川県デザインセンター)
- 2004年 三越日本橋本店5階・和のコーナー「J. スピリッツ」に「輪島キリモト・日本橋三越店」出店
- 2005年 「いつものうるし」(監修/ラトルズ刊)出版
- 2007年 集英社モード雑誌「SPUR」での能登半島地震復興スペシャルチャリティ企画において「ルイ・ヴィトン」から依頼を受け、漆の六角形小箱「BOITE LAQUEE WAJIMA」のデザイン製造監修担当。桐本木工所が製作
- 2008年 桐本木工所が「元気なモノ作り中小企業300社」に選定(中小企業庁)
- 2015年 桐本木工所・桐本俊兵衛の業務を引き継ぎ、商号を輪島キリモトとして代表に就任
- 2015年 パリ・ルーブル宮殿・パリ装飾美術館で開催された花見と弁当企画
「JAPAN PRESENTATION in Paris」で「あすなろの重ね箱」を創作
- 2015年 第二回三井ゴールデン匠賞グランプリ受賞(三井広報委員会)
- 2022年 輪島工房に隣接してデジタル店舗「漆のスタジオ」開設
国内外からのライブコマース、漆器の配信機器完備
- 2024年 令和6年能登半島地震で被災。自宅全壊、本町家屋全焼、倉庫3カ所に被害
工房と本店の建物は無事。工房隣接地に建築家坂茂氏の提案から基礎はビールケース、躯体は紙管とボード、断熱材、シートから成る仮設工房を3棟建設
恒久的に使えることから、今後の創作活動に幅を持たせる体制を準備中
- 非常勤講師
筑波大学芸術専門学群(2002年、2012年)
金沢大学人間社会学域経済学類(2003~2004年/2012~2016年)
金沢美術大学工芸大学院(2009年)、金沢美術工芸大学工芸専攻(2024年)
武蔵野美術大学空間演出デザイン学科(2012年、2015年)、他



桐本 泰一

Taiichi Kirimoto

大学でプロダクトを専攻、企業でオフィスプランニングに携わった後、輪島に帰郷。木地業の弟子修行を4年半行い、木地業からの造形提案、デザイン提案、漆器監修などを開始。木地の職人だけでなく、漆塗りを専門に手がける職人も加わったことで、輪島キリモトの領域はさらに広がりを見せ、産地内の創り手たちとの交流、都市部で暮らしを愉しむデザイナーとの取り組み、生活の中で木や漆が当たり前に使ってもらえるようにと、さまざまな可能性に挑戦している。

主催

富山・ミラノデザイン交流倶楽部/富山県共催

公益社団法人富山県デザイン協会
後援

(独法)日本貿易振興機構富山貿易情報センター/
北日本新聞社/富山新聞社/
読売新聞北陸支社

日時 2025年2月3日(月) 18:00—19:30 場所 ウイング・ウイング高岡 501 研修室 聴講無料

申込先 | 富山・ミラノデザイン交流倶楽部 〒939-1119富山県高岡市オフィスパーク5番地 (公社)富山県デザイン協会内 Tel 0766-63-7140
Fax0766-63-7141 E-mail info@toyama-da.jp 下記必要事項を明記の上、FAXまたはE-mail等にてお申し込みください。

氏名	社名・所属・役職等	連絡先
		TEL
		FAX
		E-mail